

体育科 授業改善推進プラン

1 体力テストの結果（令和4年度実施）

- ・【全校】反復横跳び（敏捷性）、20mシャトルラン（全身持久力）、立幅跳び（跳力）、の4種目がどの学年も東京都の平均を下回る結果となっている。
- ・【第5・6学年の課題】反復横跳び（敏捷性）、20mシャトルラン（全身持久力）の2種目が、東京都平均との差が5ポイント以上ある
- ・【第3・4学年の課題】長座体前屈（柔軟性）以外のほとんどの種目が都の平均を下回る。中でも立幅跳び（跳力）が低い傾向にある
- ・【第1・2学年の課題】1年生は50m走（走力）、2年生は反復横跳び（敏捷性）が低い傾向にある。

2 児童の実態（課題）

第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動に取り組む児童が多い。 ・経験の違いによる個人差が大きい。 ・友達の動きを真似したり、動きのコツを見付けたりすることが難しく、自己流の動きになってしまうことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に活動に取り組もうとする児童が多く、運動習慣も定着している。 ・友達のよい動きを見て真似ようとする児童は多いが、再現する技能力は低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを用いて振り返りを行うことで、自分の思考を整理できるようにしているができない児童も多くいる。 ・技能については経験の差、習得している技能の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に参加する児童が多い。休み時間も進んで体を動かす児童が多い。 ・休み時間の際、体を動かす遊びに広がりがなく、いつも同じ遊びをしている。そのため、基礎体力を日々の運動で向上できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に学習に参加する児童が多い。一方、休み時間に校内に残る児童が一定数いる。 ・運動を楽しむ姿は見られるが、動きのコツを見ついたり自身の動きを振り返り課題を見付けたりすることはあまりできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが好きな子が多く、様々な運動に意欲的に取り組む。 ・多様な動きなど、難しい動きのコツを見付けようとする取り組みは高まっていない。 ・男女で互いに見合うなど協力をし学習に取り組む姿が少ない。

3 課題や授業の改善策

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・場の設定を工夫したり、運動する場を増やしたりすることで、それぞれの運動の基礎的な動きを身に付けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごっこ遊びなどを通して、体の使い方や体力向上に繋げる。 ・集団での活動や競い合う楽しさを共有し、仲良く楽しく運動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や動画を活用することで、自分の動きを客観視することで、身に付けていた知識の根拠を明確にし、理解に繋げる。 ・集合整列や移動など切り替えを早く行わせる指導を続けることで、運動量の時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに声を掛け合って楽しい雰囲気づくりをすることで各種の運動の楽しさや喜びに触れ、各種の運動の基本となる様々な動きや技能を身に付けられるようにする。その結果として体力の向上をはかる。 ・用具の正しい使い方を理解させ、場や用具の安全に留意して運動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の楽しさと行い方を理解できるように、運動の行い方や動きのコツをまとめた学習カードを活用したり、タブレットで動きのコツが分かる動画コンテンツを活用したり、自身の動きを振り返り課題を見付けることができるように録画機能を活用したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の楽しさを学習カードなどの資料を用い理解できるようにする。 ・運動の行い方や動きのコツを互いに見合い、協力して運動に取り組むようにする。 ・タブレットで動きのコツが分かる動画コンテンツを活用したり、自身の動きを振り返り課題を見付けたりすることができるようにする。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・動きのポイントを押さえて取り組む児童を称賛し、児童とともに動きのポイントを見付けたり、全体で共有したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を通して、互いの動きを見てアドバイスをし合う。 ・ダンスや、マット運動などで気をつける視点を与え、ポイントに気をつけながら運動をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に書く内容を提示し、最初は選択方式で記入することで、自分の思考や判断をしたことを表現する力を身に付けさせる。 ・児童同士がお互いの動き良い点や動きのコツを見つけ、思考判断が育つ授業展開に工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動の始めに試しの活動を行い、自分の課題に気付けるようにする。また、友達とアドバイスし合う場を設けることで、その課題解決のためにどのような体の動かし方をしたらよいのか考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間の学習で、児童が考えること、見つけることが明確になるようにめあてを立てて意識して運動に取り組めるようにする。 ・児童が考えたことを共有できるように、チームやグループの友達に伝える時間、全体で共有する時間を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元を通して、めあてに対して児童が考えること、見つけることが明確になるように、意識して運動に取り組めるようにする。 ・児童が考えたことを共有できるように、チームやグループの友達に伝える時間、全体で共有する時間を確保する。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで活動する時間を作り、友達の良いところや改善点を見付けてコミュニケーションを取ること、交流する場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団で取り組める遊びを工夫し、順番やきまりを守って安全に運動できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで取り組ませることで、自ら働きかける児童を育成していく。 ・毎時間のめあてを明確に提示し、振り返る時にはめあてに沿って行わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナイス」「グッド」など相手を認める声掛けを掛け合う雰囲気をつくることで決まりを守り、誰でも仲良く運動できるようにする。 ・「ドンマイ」「大丈夫だよ」などの励ましの声掛けをすることで、最後まで努力して運動する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に積極的に取り組み、児童や約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしている児童を称賛することで、意欲的に学びに向かう児童を育成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動に積極的に取り組み、児童や約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりしている児童を称賛することで、意欲的に学びに向かう児童を育成していく。

※太枠内は、特に重視する内容